

8 成長戦略の実現に向けた国の政策の推進

提出先 内閣官房、内閣府

【提案項目】

- 1 国の「健康・医療戦略」等への「未病」の明確な位置付け
- 2 国家戦略特区等におけるプロジェクト推進の加速化
- 3 総合特区推進調整費の柔軟な運用

【提案内容】

項目1 健康・長寿社会の実現に向けた「未病」を基軸とした取組を全国的に推進するため、未病コンセプトや具体の取組の方向を国家戦略である「健康・医療戦略」に具体的に位置付けるなど、特段の措置を講じること。

項目2 国・地方・民間が一体となって取り組むべき国家戦略特区及び総合特区のプロジェクトを推進するため、**規制緩和等の協議に速やかに対応すること。**

項目3 総合特区推進調整費について、関係府省予算における対応が困難な場合には、**指定地域に直接交付する制度を創設すること。**

また、**独立行政法人等が執行する補助事業も対象とすること。**

【実現による効果】

「健康・医療戦略」や、国家戦略特区及び総合特区制度をはじめとした国の政策と、本県が取り組むヘルスケア・ニューフロンティア政策等が一体となって取組を進めることにより、未病コンセプトの国内外への普及拡大、未病産業創出等のためのビジネス環境の整備に必要な規制改革が実現し、県民の健康寿命の延伸や新たな市場・産業の創出が加速する。

【提案理由】

本県では、超高齢社会を乗り越えるため、「最先端医療・最新技術の追求」と「未病を改善する」という2つのアプローチを融合させ、県民の健康寿命の延伸や新たな市場、産業を創出する「ヘルスケア・ニューフロンティア」に取り組んでいる。特に「未病」を基軸とした取組については、国の「健康・医療戦略」（平成26年7月策定）や「健康・医療戦略の実行状況と今後の取組方針2015」（平成27年7月決定）にも、『健康・未病産業や最先端医療関連産業』をはじめとした健康長寿社会の形成に資する新たな産業活動の創出」と記載され、地方の先駆的な取組として紹介されている。本県では、「未病サミット神奈川宣言」の採択や世界に向けた発信などを行い、「未病」

の考え方を社会に広めているが、今後は、全国的に推進するため、国家戦略として明確に位置付ける必要がある。

また、「国家戦略特区」等3つの特区を活用し、必要な規制改革を実現し、イノベーションを生み出す基盤の構築を図り、健康・医療市場のビジネス環境を整備するため、より積極的な規制の特例措置や財政上の支援措置を実現する必要がある。

さらに、総合特区において、関係府省の予算制度を機動的に補完し、効果的に財政上の支援措置を行うためには、総合特区推進調整費を指定された特区へ直接交付する制度の創設が必要である。

加えて、国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）等の独立行政法人の設立に伴い、今まで省庁で実施していた医療分野の研究開発に関する事業がAMEDに移管されたが、総合特区推進調整費の対象は省庁が実施する事業に限定されている。事業者がより活用しやすい仕組みとするため、独立行政法人が執行している補助事業についても対象とする必要がある。

【本県での取組状況等】

平成23年12月に、横浜市及び川崎市と共同で「京浜臨海部ライフイノベーション国際戦略総合特区」の指定を受け、平成25年2月には、「さがみロボット産業特区」の指定を受けた。

京浜臨海部ライフイノベーション国際戦略総合特区では、平成26年度に総合特区推進調整費（本体予算：経済産業省）を活用し、川崎市の殿町区域に再生・細胞医療の実用化・産業化拠点であるライフイノベーションセンターを整備するなど、ライフサイエンス分野における国際競争拠点の形成を促進した。

また、さがみロボット産業特区では、平成25・26年度に総合特区推進調整費（本体予算：経済産業省）を活用してリハビリ支援ロボットの開発・実証を行うなど、生活支援ロボットの実用化を通じた県民の安全・安心の実現や、地域経済の活性化に向けた取組を進めた。

さらに平成26年5月に、神奈川県全域が東京圏国家戦略特別区域として指定を受けた。

これまで、複数の医療機関が「病床規制に係る医療法の特例」や「保険外併用療養の特例」を活用し、高度医療の提供に向けた取組を進めており、また、本県でも女性の活躍推進等に向け、「地域限定保育士事業」や「家事支援外国人受入事業」を全国に先駆けて実施した。

特に地域限定保育士事業については、本県が提案・実施した結果、平成28年からは全国措置として2回目の保育士試験が実現し、岩盤規制の突破に大きく貢献した。

東京圏国家戦略特区

【目標】

2020年開催の東京オリンピック・パラリンピックも視野に入れ、世界で一番ビジネスのしやすい環境を整備することにより、世界から資金・人材・企業等を集める国際的ビジネス拠点を形成するとともに、創薬分野等における起業・イノベーションを通じ、国際競争力のある新事業を創出

京浜臨海部ライフイノベーション国際戦略総合特区

【目標】

個別化・予防医療時代に対応したグローバル企業による革新的医薬品・医療機器の開発・製造と健康関連産業の創出

さがみロボット産業特区

【目標】

生活支援ロボットの実用化を通じた地域の安全・安心の実現

（神奈川県担当課：政策局ヘルスケア・ニューフロンティア推進本部室、産業労働局産業振興課）